



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月5日
東

上場会社名 丸一鋼管株式会社 上場取引所
 コード番号 5463 URL <http://www.maruichikokan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 鈴木 博之 (TEL) 06-6531-1201
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 河村 康生
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績 (平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	111,493	△2.2	12,589	△9.2	14,145	△8.9	10,367	0.4
27年3月期第3四半期	113,986	15.2	13,871	△6.7	15,523	△7.8	10,322	△0.4

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 2,528百万円(△84.9%) 27年3月期第3四半期 16,697百万円(△22.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	123.53	123.42
27年3月期第3四半期	121.82	121.71

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	296,656	245,353	79.2
27年3月期	321,452	254,374	75.8

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 235,089百万円 27年3月期 243,641百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	25.00	—	46.50	71.50
28年3月期	—	25.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	50.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成28年3月期の連結業績予想 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	144,500	△5.4	17,100	△3.6	18,700	△6.1	13,100	40.9	156.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

28年3月期3Q	94,000,000株	27年3月期	94,000,000株
28年3月期3Q	10,937,801株	27年3月期	9,270,643株
28年3月期3Q	83,924,291株	27年3月期3Q	84,733,522株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費については暖冬の影響もあり弱さが見られましたが、外国人訪日客の急増が明るい材料となりました。また堅調な企業収益を背景にした設備投資や雇用環境の改善により、緩やかな回復基調で推移しました。海外では、米国経済は堅調に推移し、欧州経済も緩やかに景気が回復しましたが、アジアでは中国や新興国の経済成長が鈍化し、また米国の利上げの影響等もあり、通貨・株価の下落をともない、先行き不透明な状況で推移致しました。

一方、鉄鋼業界に関しては国内需要の盛り上がりには欠け、自動車販売の回復が遅れるなど、全体的に停滞しました。海外においては、中国の過剰生産等により鉄鋼製品価格が大幅に下落し、市況が混迷し、極めて厳しい状態となりました。

(日本)

当社の国内事業につきましては、建築向け製品は当用買いが続き需要が停滞し、自動車向け製品についても需要が伸び悩み、また昨年のような雪害による農業向け鋼管の特需などもなく、一方で世界的な供給過剰等を要因とする鋼材市況の価格の先安感等もあり、販売数量、販売単価ともに前年同期比マイナスとなりました。このような状況のもと、コストダウンに努めてまいりました。以上により国内事業は、売上高は692億9千2百万円（前年同期比7.5%減）、セグメント利益は123億8千5百万円（前年同期比9.1%減）の結果となりました。

(北米)

北米事業につきましては、オレゴン州のマルイチ・オレゴン・スチール・チューブLLC社（MOST社）の新規連結などにより、売上高は204億7千5百万円（前年同期比26.3%増）と大幅に増加致しましたが、米国連結3社は鋼材市況の大幅悪化の影響を受け、特にマルイチ・レビット・パイプ・アンド・チューブLLC（Leavitt社）では、エネルギー関連向け需要の減少も加わり、セグメント損失5億9千1百万円を計上致しました。

(アジア)

アジア事業につきましては、ベトナムのマルイチ・サン・スチール・ジョイント・ストック・カンパニー（SUNSCO社）で、東南アジア諸国のセーフガードや中国製品の供給過剰による市場の競争激化から国内販売努力を行いましたが、販売数量、価格ともに下落したことにより、217億2千4百万円（前年同期比5.0%減）と減少しました。一方、同社の償却費負担の軽減などにより、セグメント利益は6億5千8百万円（前年同期比973.7%増）を計上致しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は1,114億9千3百万円（前年同期比2.2%減）、営業利益は125億8千9百万円（前年同期比9.2%減）、経常利益は141億4千5百万円（前年同期比8.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は103億6千7百万円（前年同期比0.4%増）となりました。

なお、対米ドル換算レートは1米ドル120円89銭であります。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は2,966億5千6百万円（前連結会計年度比247億9千5百万円の減少）となりました。

主な内容は、流動資産については、現金及び預金が81億4千2百万円、原材料及び貯蔵品が50億1千3百万円減少したことなどにより流動資産合計で114億6千3百万円減少しました。固定資産については、株式市場の時価下落により投資有価証券が118億9千5百万円減少し、固定資産合計で133億3千1百万円減少しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は513億2百万円（前連結会計年度比157億7千4百万円の減少）となりました。

主な内容は、支払手形及び買掛金が87億9千3百万円減少したことにより、流動負債合計で112億5千2百万円減少しました。固定負債については、繰延税金負債が23億2千5百万円、長期借入金が22億3千9百万円減少したことにより、固定負債合計で45億2千2百万円減少しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,453億5千3百万円（前連結会計年度比90億2千1百万円の減少）となりました。

主な内容は、利益剰余金は、配当金の支払60億3千3百万円に対して、親会社株主に帰属する四半期純利益103億6千7百万円などにより、43億2千3百万円増加しましたが、その他有価証券評価差額金が71億4千8百万円減少し、自己株式が53億8千2百万円増加（純資産の減少）したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年11月9日に公表いたしました業績予想の修正を行っております。詳細につきましては、本日開示しております「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

セグメント別の今後の見通しについては、以下のとおりです。

(日本)

国内事業につきましては、自動車向け需要は若干回復傾向にありますが、建築等の需要は低調で、数量の伸びはあまり期待できない状況です。販売価格に関しても下落傾向にあります。従いまして、コストの低減に努め、収益の改善をはかってまいります。また、大阪工場の堺工場への集約や国内工場の設備更新により効率化を進めてまいります。

(北米)

北米事業につきましては、第4四半期に関しては市況の厳しい状況は続いておりますが、足下では北米の鉄鋼市況も回復の兆しが出てきております。新たに鋼管事業を買収したMOST社を軌道に乗せ、既存のマルイチ・アメリカン・コーポレーションとともに米国西部での当社グループのプレゼンスの拡大に努めております。メキシコのマルイチメックス S.A. de C.V.では、引き続き新規顧客の開拓をはかり、新設した第2工場を活用し増加が期待されるメキシコの自動車用鋼管需要に積極的に対応してまいります。

(アジア)

アジア事業につきましては、ベトナムSUNSCO社でも、第4四半期に関しては在庫評価損の発生が見込まれますが、高品質な製品を供給することにより、日系顧客も含めたベトナム国内及び近隣諸国への販売体制の強化をはかり、また米国も含めた新しい市場の開拓にもつとめてまいります。一方足下では、中国市況に合わせて同地区の市況も底入れ感が台頭しつつあります。インドのマルイチ・クマ・スチール・チューブ・プライベート・リミテッドでは、新設したバンガロール工場がペイラインに乗りつつあり、これによりインド南部のステンレス鋼管の供給体制の強化をはかってまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)
等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額
を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更い
たしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定
による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方
法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更
を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、
四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び
事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点
から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はあります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	61,311	53,169
受取手形及び売掛金	34,976	34,258
有価証券	23,157	24,742
製品	10,566	10,257
原材料及び貯蔵品	19,405	14,392
その他	4,388	5,529
貸倒引当金	△28	△35
流動資産合計	153,778	142,314
固定資産		
有形固定資産		
土地	32,644	32,733
その他	54,621	53,804
有形固定資産合計	87,266	86,537
無形固定資産		
のれん	1,011	889
その他	2,316	2,206
無形固定資産合計	3,327	3,095
投資その他の資産		
投資有価証券	73,789	61,893
その他	3,290	2,814
投資その他の資産合計	77,079	64,708
固定資産合計	167,673	154,341
資産合計	321,452	296,656

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,489	15,696
短期借入金	10,565	10,940
未払法人税等	2,990	2,171
賞与引当金	845	486
役員賞与引当金	79	49
その他	6,992	5,365
流動負債合計	45,962	34,710
固定負債		
長期借入金	11,269	9,030
役員退職慰労引当金	65	74
退職給付に係る負債	3,121	3,151
繰延税金負債	6,427	4,102
その他	230	234
固定負債合計	21,114	16,592
負債合計	67,077	51,302
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,595	9,595
資本剰余金	15,821	15,821
利益剰余金	223,199	227,523
自己株式	△20,506	△25,888
株主資本合計	228,110	227,051
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,382	7,233
為替換算調整勘定	1,269	886
退職給付に係る調整累計額	△120	△82
その他の包括利益累計額合計	15,531	8,037
新株予約権	134	122
非支配株主持分	10,597	10,141
純資産合計	254,374	245,353
負債純資産合計	321,452	296,656

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	113,986	111,493
売上原価	90,631	89,185
売上総利益	23,355	22,307
販売費及び一般管理費	9,484	9,717
営業利益	13,871	12,589
営業外収益		
受取利息	213	134
受取配当金	861	1,028
持分法による投資利益	479	563
為替差益	89	—
その他	542	585
営業外収益合計	2,186	2,312
営業外費用		
支払利息	231	266
為替差損	—	153
不動産賃貸費用	175	218
その他	127	118
営業外費用合計	534	756
経常利益	15,523	14,145
特別利益		
投資有価証券売却益	753	1,872
その他	17	74
特別利益合計	770	1,946
特別損失		
固定資産除却損	18	17
その他	18	1
特別損失合計	36	18
税金等調整前四半期純利益	16,257	16,073
法人税等	5,881	5,707
四半期純利益	10,375	10,365
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	53	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,322	10,367

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	10,375	10,365
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,909	△5,418
為替換算調整勘定	1,251	△417
退職給付に係る調整額	36	35
持分法適用会社に対する持分相当額	125	△2,036
その他の包括利益合計	6,322	△7,836
四半期包括利益	16,697	2,528
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,168	2,873
非支配株主に係る四半期包括利益	529	△345

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は平成27年5月12日開催の取締役会および平成27年11月9日開催の取締役会において、会社法第459条第1項第1号の規定による定款の定めに基づく、自己株式の取得を決議し、実施しております。これにより、四半期連結貸借対照表の純資産の部の株主資本における自己株式が1,682千株、5,417百万円増加しております。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	日本	北米	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	74,891	16,218	22,877	113,986	—	113,986
セグメント間の 内部売上高又は振替高	866	—	—	866	△866	—
計	75,757	16,218	22,877	114,853	△866	113,986
セグメント利益	13,627	116	61	13,805	65	13,871

(注) 1. セグメント利益の調整額65百万円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 第1四半期連結会計期間において、マルイチメックス S.A. de C.V.を連結の範囲に含めたため、北米事業における資産の金額が著しく増加しております。この結果、当該増加額を含めた第3四半期連結会計期間末の北米事業の資産残高は、18,992百万円(前連結会計年度末15,671百万円)であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	日本	北米	アジア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	69,292	20,475	21,724	111,493	—	111,493
セグメント間の 内部売上高又は振替高	145	—	—	145	△145	—
計	69,438	20,475	21,724	111,638	△145	111,493
セグメント利益又は損失(△)	12,385	△591	658	12,452	136	12,589

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額136百万円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。